



東っこ通信 2018

みやき町立三根東小学校
学校だより No.12
平成30年10月30日(火)
校長 築波 真史

学校教育目標

＜豊かな心を持ち、自ら学び、進んで行動する児童の育成＞
～夢にチャレンジ東っ子～

修学旅行は天候に恵まれて実施できました

今年は行事のたびに雨や台風の心配をしているような気がしていましたが、10月24日(水)～25日(木)に行いました修学旅行については、全く天候の心配もせずに、どの学年も最高の天候に恵まれ、予定通り実施できました。私も6年生の修学旅行の引率をしたのですが、グループでのフィールドワークもしっかり計画通りに進めることができ、充実した思い出に残る修学旅行になったことと思います。他の学年についても、昨年度から行き先を変更した学年も多かったのですが、計画通り、充実した修学旅行ができたと報告を受けています。

また、今年は6年生だけでなく、5年生も三根西小学校と合同での修学旅行となりました。三根中校区は小中連携、小小連携事業を推進しています。三根東小と三根西小の子どもたちが様々な行事や活動を通して仲良くなれば、中学校に進学したときの友だちづくりや中学校生活への適応もよりスムーズになると考えています。

保護者の皆様にも、お弁当の準備など、ご協力いただきありがとうございました。おかげさまで子どもたちも大変有意義な体験ができ、友だちと一緒に楽しめた修学旅行になったようです。

今回の東っ子通信は、各学年の修学旅行の様子を少し紹介します。

1・2年生はヤクルト工場の見学と吉野ヶ里歴史公園で勾玉づくりに挑戦

1・2年生はヤクルト工場の見学と、吉野ヶ里歴史公園の見学に行ってきました。ヤクルト工場の見学は「佐賀県ものづくり産業課」の事業での工場見学となっており、バス代などの補助を受けています。



ヤクルト工場では、ヤクルトができるまでの説明を受けたりビデオを観たりして、ヤクルトを1本ずつ試飲させていただきました。5.5mもある大きなタンクでヤクルトを作っていると聞いて、みんなびっくりしていました。

吉野ヶ里歴史公園では、勾玉づくりに挑戦しました。高学年の取り組みとして行うことが多いようですが、低年生のみなさんも上手にでき、係の方も感心しておられました。また、トランポリンなどの遊具でも楽しく遊ぶことができました。

3・4年生は福岡市方面でマリンワールドと福岡市民防災センターの見学

3・4年生は福岡市方面へ出かけました。まず、志賀島にある日本有数の水族館である、「マリンワールド海の中道」行きました。昨年リニューアルされたマリンワールドで様々な珍しい魚を観察したり、イルカやアシカのショーを楽しんだりできました。お昼のお弁当もイルカのショーが行われた場所で、訓練の様子を見ながら食事ができました。



「福岡市民防災センター」では様々な災害について学んだり模擬体験したりすることを通して、子どもたちの防災に関する意識も高まったことでしょう。しっかり学習できたと思います。

どちらの見学地でも、熱心に説明を聞いたり、ルールを守って見学したりでき、楽しい修学旅行ができました。

5年生は北九州市方面で八幡製鉄所といのちのたび博物館の見学

5年生は今年初めて三根西小学校の5年生と、三根校区小小連携事業も兼ねて合同で行きました。今年は北九州市の「新日鉄住金八幡製鉄所」と「いのちのたび博物館」を見学しました。

八幡製鉄所は東京ドーム約237個分という広大な敷地にあり、ダイナミックな鉄鋼製品の製造工程を見学できます。当日は残念ながら鉄をドロドロに溶かす高炉が月に一度のメンテナンスの日と重なって見ることはできませんでしたが、真っ赤な鉄の塊を薄くのばす熱延工場を見学することができ、明治以来日本の産業を支えてきた製鉄業についての理解を深めることができました。

「いのちのたび博物館」は、人類3億年の歴史をテーマに、様々な自然や生きものとの関わりを軸にした展示が行われている自然史・歴史博物館で、生命の進化する道筋や人の歴史の展示や解説がされています。当日は見学している団体がとても多くて少し大変でしたが、全長約35mのセイモサウルスやステゴサウルスなど、ズラリと並ぶ骨格標本を見ていると、はるか古代へと想像をかきたてられます。我々人間についても、弥生時代の住居を復元したものや、指定有形文化財を展示する歴史ゾーンもありました。

三根西小の5年生ともバスの中を含めて楽しく交流ができ、修学旅行を通して、よりお互いを知ることができたのではないかと思います。



6年生は1泊2日、長崎で平和・歴史・文化について学習しました

私は6年生と一緒に長崎市へ行ってきました。今年は三根西小も同じ日程で計画されていたので、三根校区小小連携事業の一環として1日目のフィールドワークや講話、夜の夜景見学などは一緒に行動しました。

1日目は平和集会のあと、原爆資料館を見学し、被爆体験講話を聞きました。講話は池田早苗さんという男性の方で、私も過去2回、お話を伺ってとてもすばしかったので是非とお願いして実現したものです。被爆者の方も高齢化されており、池田さんもご高齢のためか、少し聞き取りにくい部分もありましたが、原爆で次々ときょうだいを失っていかれた悲しみが伝わってきました。

その後、平和公園へ移動して写真撮影をした後お弁当を食べ、グループごとに戦争や原爆についてのフィールドワークを行いました。全員予定通りの時刻に集合場所の平和公園へ戻り、ホテルへ。夜は三根西小のみんなと一緒に女神大橋へ長崎の夜景を見に出かけました。2日目は全員で長崎歴史文化博物館を見学した後、グループごとに長崎の歴史や文化について学ぶフィールドワークでした。どのグループもほぼ予定通りに、私が待っていたグラバー園へ到着しました。

6年生にとって、この修学旅行を通して、長崎の町が持つ被爆都市という悲しい一面と、昔から外国とのつきあいが深く、異国情緒にあふれた歴史や文化の一面を肌で感じ、友達と協力しながら歩いた楽しかった思い出として、心に刻み込まれた修学旅行となったことでしょう。

